

■米国：カリフォルニア州、2020年の排出削減目標を前倒しで達成

2018年7月11日の専門誌は、2016年のカリフォルニア州の温室効果ガス（GHG）排出量が4億2,940万tCO₂となり、2020年の目標である1990年の排出量（4億3,100万tCO₂）を下回り、前倒しで目標を達成したと伝えた。カリフォルニア州のGHG排出量は2004年にピーク（4億9,370万tCO₂）に達し、その後、2015年には4億4,140万tCO₂まで減少し、2016年に目標に到達した。中でも電力部門のCO₂排出量削減の影響が大きく、州外からの輸入水力が39%、太陽光発電は33%それぞれ増加し、天然ガス火力は15%減少したため、電力全体では前年から18%減少し、GHG排出量に占める割合は16%（輸入電力分を含む）まで低下した。カリフォルニア州では、2030年に1990年比でGHG排出量を40%削減することを目標としており、州関係者はこの目標の達成にも自信を見せるが、州内のGHG排出量の40%以上を占める運輸部門からのCO₂排出量は増加しており、目標達成は難しいと考えられる。